



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月7日

上場会社名 NANOホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4571 URL https://www.nano-hd.com/
 代表者 （役職名）代表取締役会長兼社長CEO （氏名）松村 淳
 問合せ先責任者 （役職名）取締役CFO （氏名）松尾 隆 TEL (03) 6432-0020
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	35	363.6	△275	—	△273	—	△281	—
2026年3月期第1四半期	7	—	△189	—	△200	—	△200	—

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 △428百万円（－％） 2026年3月期第1四半期 △83百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△3.39	—
2026年3月期第1四半期	△2.85	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	5,235	3,315	62.8
2026年3月期	5,906	3,565	59.9

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 3,289百万円 2026年3月期 3,538百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

当社が行う投資事業の特性上、投資件数や株式市況等の影響を大きく受けるため、合理的な業績予想の算定が困難であることから、業績予想は開示せず、四半期決算及び中間・年度決算にて適時に業績を公表することといたします。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
 新規 1社（社名）NANO MRNA株式会社、除外 1社（社名）—

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	83,536,758株	2026年3月期	82,100,758株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	32,329株	2026年3月期	32,329株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	82,998,022株	2026年3月期1Q	70,595,029株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(決算補足説明資料および決算説明動画の入手方法)

決算補足説明資料および決算説明動画につきましては、後日当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間において、売上高は35,699千円（前年同期比363.6%増）、営業損失は275,888千円（前年同期営業損失189,793千円）、経常損失は273,757千円（前年同期経常損失200,201千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は281,439千円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失200,896千円）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間におきまして、以下の営業外収益、営業外費用及び過年度法人税等を計上しております。

- ・外国為替相場の変動による為替差益6,465千円を営業外収益に計上しております。これは主に、当社の保有する外貨建預金の評価替えにより発生したものであります。
- ・支払利息6,799千円を営業外費用に計上しております。これは第1回無担保社債（適格機関投資家限定）に係る支払利息であります。
- ・過年度法人税等6,861千円を計上しております。これは当社子会社において、2026年6月末確定申告時の自主点検の結果、法人税等の計上に一部漏れが判明したことによるものです。

当第1四半期連結累計期間における事業の状況は以下のとおりです。

（投資事業の状況）

2026年4月1日よりホールディングス体制をスタートしました。当社グループは、投資事業を中核事業として、日本の優れた技術・事業資産を世界市場へつなぐ「Gateway Model」による投資プラットフォーム事業を推進しております。当社は、投資戦略の立案、投資案件の創出及び事業開発を担い、子会社Nano Bridge Investment株式会社（NBI）は投資ファンドを通じた資金供給機能を担っております。さらに、米国子会社Nano Holdings USが有する海外ネットワークを組み合わせることで、日本の優れた技術・事業資産を世界市場で競争力のある事業へと育成し、グローバル市場への展開を推進しております。

その投資プラットフォームの基盤として、NBIはSBIホールディングス株式会社の連結子会社であるSBI新生企業投資株式会社を親会社とするSBI新生グロースキャピタル株式会社（SGC）と共同でBio Bridge I投資事業有限責任組合を運営し、投資活動及びファンドレイズを推進しております。また、国内ではSBIグループとの連携による案件ソーシング体制を構築するとともに、中国のNorwich Capitalとの協業によるライセンス及び事業開発体制を構築し、日本の優れた技術・事業資産をグローバル市場へ展開する基盤を強化しております。

投資案件として、Bio Bridge Iは、2026年7月に株式会社ナティアスへの出資を実施いたしました。同社は、核酸医薬、mRNA医薬及びゲノム編集分野における核酸原料や製造技術を開発するディープテック企業であり、独自の核酸合成技術「Blockmer®」を中核技術として、長鎖核酸の高品質化及び大量生産に取り組んでおります。Blockmer®は、従来法と比較して製造工程の短縮、不純物の低減及び高品質な長鎖核酸の製造を可能とする技術であり、経済産業省やAMEDの国家プロジェクト等に採択されるなど、その技術が高く評価されています。NBIは、こうした技術的優位性及び事業の成長性を総合的に評価し、当社グループが推進する「Gateway Model」と高い親和性を有すると判断したことから、本件投資を実施いたしました。今後は、NBIによる資金供給に加え、当社及び米国子会社Nano Holdings USが有する国内外のネットワークや事業開発機能を活用し、同社の企業価値向上及びグローバル展開を推進してまいります。

これらの取組みにより、「Gateway Model」に基づく投資プラットフォームの推進基盤を強化し、投資案件の創出から資金供給、事業開発、海外展開までを一体的に推進することで、日本の優れた技術・事業資産をグローバル市場へ展開し、当社グループの中長期的な成長を目指してまいります。

（事業子会社の状況）

NANO MRNA株式会社

NANO MRNA株式会社は、核酸創薬プラットフォーム企業として、核酸医薬及びmRNA医薬の研究開発を推進しております。2026年4月1日に新設分割により設立され、当社より創薬事業を承継いたしました。同年5月にはPEGフリーLNP技術を有するLuna RD株式会社を子会社化いたしました。NANO MRNAが保有するポリマーDDS技術と同社が有するDDS技術をコア技術として、mRNA及びオリゴ核酸を対象としたプラットフォーム事業の展開を進めるとともに、TUG1 ASO及びRUNX1 mRNAをプラットフォーム技術の有効性を実証する重点開発品目として臨床開発を推進しております。また、mRNAを融合した次世代創薬モダリティであるin vivo CAR-Tなどの研究開発を進めております。

なお、創薬事業におきましては、研究開発パイプラインに関する情報は、臨床開発段階にあるもの及び業績に重要な影響を与える事項を除き、原則として開示しない方針としております。

臨床パイプラインの状況

TUG1 ASO（再発膠芽腫）：

2026年4月20日に米国がん学会（AACR）にて名古屋大学大学院 医学研究科 脳神経外科学 齋藤竜太教授より本製剤のPhase I試験の投与レベル4までの最終結果が報告されました。本製剤はレベル4では用量制限毒性を認め、至適用量はレベル3以下に決定されました。重篤な安全性の懸念はなく、対象疾患である難治性の再発膠芽腫に対し、1例で腫瘍の縮小を伴う長期SD（Unconfirmed PR）の所見が得られていることが公表されました。本試験結果を踏まえて、投与量およびスケジュールを再検討するPhase Ib試験の治験届を2026年7月に提出し、8

月から患者登録に向け、施設手続きを進めております。

RUNX1 mRNA（変形性膝関節症）：

2025年11月にオーストラリアで治験実施施設がオープンし、Phase I試験を開始し、2026年2月に第1例目の投与が実施され、これまでに合計3例の被験者への投与が実施されております。今後も現地の医療機関と強固に連携し、スクリーニング機会拡大などを通じて登録の加速化を進めています。

販売事業につきましては、株式会社アルビオンが販売する美容液エクラフチュール及び薬用美白美容液エクシア ブライトニング イマキュレート セラム用の当社技術を応用した原材料を供給しております。これにより、当第1四半期連結会計期間において、原材料の販売による売上高15,400千円を計上しております。

コムレクス®耳科用液1.5%（開発コードENT103）は、2023年6月からセオリアファーマ株式会社により販売されております。当第1四半期連結会計年度において、売上高20,299千円を計上しております。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における資産は、現金及び預金の減少により、前連結会計年度末に比べ671,291千円減少し、5,235,048千円となりました。負債は、1年内償還予定の社債の償還等により、前連結会計年度末に比べ420,824千円減少し、1,919,773千円となりました。純資産は、資本金及び資本準備金の増加、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金の減少、その他有価証券評価差額金の減少等により、前連結会計年度末に比べ250,467千円減少し、3,315,274千円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社が行う投資事業の特性上、投資件数や株式市況等の影響を大きく受けるため、合理的な業績予想の算定が困難であることから、業績予想は開示せず、四半期決算及び中間・年度決算にて適時に業績を公表することといたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,910,354	4,220,000
売掛金	12,194	15,043
原材料及び貯蔵品	331	331
その他	276,147	277,589
流動資産合計	5,199,028	4,512,965
固定資産		
有形固定資産	0	0
無形固定資産	0	0
投資その他の資産		
投資有価証券	335,814	186,648
その他	371,496	535,434
投資その他の資産合計	707,311	722,082
固定資産合計	707,311	722,082
資産合計	5,906,339	5,235,048
負債の部		
流動負債		
1年内償還予定の社債	300,000	—
未払法人税等	27,012	10,376
その他	656,754	652,490
流動負債合計	983,767	662,867
固定負債		
社債	1,300,000	1,200,000
資産除去債務	34,386	34,461
その他	22,444	22,444
固定負債合計	1,356,831	1,256,906
負債合計	2,340,598	1,919,773
純資産の部		
株主資本		
資本金	979,046	1,068,570
資本剰余金	6,359,386	6,448,910
利益剰余金	△3,930,768	△4,212,208
自己株式	△27	△27
株主資本合計	3,407,636	3,305,244
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	113,863	△35,255
為替換算調整勘定	16,669	19,153
その他の包括利益累計額合計	130,532	△16,102
新株予約権	27,130	25,752
非支配株主持分	441	380
純資産合計	3,565,741	3,315,274
負債純資産合計	5,906,339	5,235,048

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
売上高	7,700	35,699
売上原価	1,410	2,820
売上総利益	6,290	32,879
販売費及び一般管理費	196,083	308,768
営業損失（△）	△189,793	△275,888
営業外収益		
受取利息	3,348	2,437
為替差益	—	6,465
雑収入	148	123
営業外収益合計	3,497	9,027
営業外費用		
支払利息	—	6,799
為替差損	13,745	—
雑損失	159	95
営業外費用合計	13,905	6,895
経常損失（△）	△200,201	△273,757
特別損失		
減損損失	—	285
特別損失合計	—	285
税金等調整前四半期純損失（△）	△200,201	△274,042
法人税、住民税及び事業税	695	549
過年度法人税等	—	6,861
法人税等合計	695	7,410
四半期純損失（△）	△200,896	△281,453
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	—	△14
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△200,896	△281,439

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
四半期純損失（△）	△200,896	△281,453
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	114,981	△149,166
為替換算調整勘定	2,082	2,483
その他の包括利益合計	117,064	△146,682
四半期包括利益	△83,832	△428,136
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△83,832	△428,074
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△61

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、ヘルスケア・バイオ領域に係る投資事業、投資を通じた医薬品等の研究開発及び製造販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載は省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2025年10月30日に発行した第22回新株予約権（行使価額修正条項付）の一部行使が行われております。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ89,523千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が1,068,570千円、資本剰余金が6,448,910千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	一千円	4千円